

授業科目 保健体育科教育法Ⅱ

【担当教員名】 和唐正勝	対象学年	3	対象学科	本
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【<概要>又は<一般目標：G I O>】
 保健体育のうち特に保健の授業づくりとその実践ができる力量の形成を図ることをねらいとしている。そのため、保健の授業づくりの基礎・基本を学ぶとともに、それに基づき授業案を作成し、模擬授業を実施することを通して、保健の教材づくりと教授行為について学習する。

【<学習目標>又は<行動目標：S B O>】
 1. 保健科教育の意義と目的について説明できる。
 2. 保健の教育内容の概略と構成の原理を説明できる。
 3. 教育内容研究及び教育内容の教材化を図ることができる。
 4. 基礎的な保健の授業案を作成することができる。
 5. 教授行為を考慮した模擬授業を行うことができる。
 6. 保健の授業研究の方法を説明できる。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
	1. 保健科教育の意義と目的 2. 学習指導要領に見られる保健の内容 3. 保健の教育内容研究とその進め方 4. 保健の教材づくり 5. 保健の授業における教師の教授技術 6. 保健の授業案とそのつくり方 7. 保健の授業テーマの設定と保健の授業づくり 8. 模擬授業の計画立案とその授業づくり 9. 模擬授業のための教材・教具の開発 10. - 1 4. 模擬授業の実施と検討 15. 保健の授業研究	1 講義 2 講義 3 講義及び実習 3 講義及び実習 5 講義及び実習 4 講義及び実習 5 講義 5 班別実習 3 班別実習 5 班別実習 6 講義及び実習	和唐

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書 (必ず購入する書籍)	中学校学習指導要領解説—保健体育編—(文部科学省、東山書店)			
参考書	新版・保健の授業づくり入門(森昭三、和唐正勝編著、大修館書店)			
その他の資料				
【評価方法】 授業参加20%、模擬授業30%、レポート50%	【履修上の留意点】			